

# 特集！わが施設のイチオシ

済生会本部が発行する機関誌「済生」2月号にわが施設のイチオシとして、  
**泌尿器科の吉水医師と車田医師**を紹介しました。

## 「HoLEP・逆行性一塊核出法」のエキスパート

新潟第二病院



車田先生

吉水先生

当院には、前立腺肥大症手術のエキスパートである泌尿器科の吉水敦、車田茂徳という2人のドクターがいます。当院のHoLEPは吉水先生独自の術式で、腺腫を逆行性に一塊としてくりぬくところに特徴があります。出血が少なく術後の疼痛も軽く、再発の可能性が低い低侵襲治療で、850以上の症例があります。

診療実績比較サイト（病院情報局 <http://hospi.jp>）によると、DPC参加施設の中で、当院は前立腺肥大症の手術と上部尿路疾患（尿路結石症）の経皮的尿路結石除去術の手術件数が2

年連続全国1位でした（2位の1・5〜2倍の件数）。経尿道的尿路結石除去術の実績も全国18位です。他科の手術なので全く宣伝はしていませんが、婦人科のTCR（経頸管切除術）も吉水先生が行っており、先生によるとTCRは四つの内視鏡手術の中で一番レベルの高い手術ではないかとのことでした。

HoLEPの手術動画をYouTubeにUPしましたのでぜひご覧ください。4分50秒頃が見所で、腺腫がひとつかたまりに気持ちよく膀胱に落ちていきます。「済生会新潟第二病院」で検索す

ると一番上にきます。音声は入っていませんが、解説書をダウンロードすることで英語、中国語、韓国語、日本語に対応しています。

最後に「全国済生会の泌尿器科医師のみなさんに、新潟のおいしいお酒、お米、お魚を食べにきたついでに当院のHoLEPを見てもらいたい」と吉水先生が言っています。お問い合わせをお待ちしています。

特集 わが施設のイチオシ

17 「済生」2011年2月号 Vol.87 No.2

泌尿器科受診には紹介状が必ず必要です。悪性疾患は他院に紹介させていただいております。  
受診に関するお問い合わせは地域医療連携室までお願いします。